

<p>【技術の名称】 アクパド工法Ⅱ ー柱状砕石補強体を用いた地盤補強工法ー (改定4)</p>	<p>性能証明番号: GBRC 性能証明 第11-07号 改4 (更1) 性能証明発効日: 2023年7月18日 性能証明の有効期限: 2026年7月末日</p> <p>【取得者】 株式会社古川組</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、独自形状の螺旋状の回転翼を有するロッドを用いて軟弱地盤を掘削し、この掘削孔に砕石を充填圧入することで築造される締固められた砕石柱状体と原地盤の支持力を複合させて利用する地盤補強工法である。本工法の施工方法は、孔壁崩壊の恐れがある場合に用いるロッド先端部から圧縮空気および圧力噴射水を吐出させて孔壁の安定を図りながらロッドを反転させて掘削する湿式施工、および、孔壁崩壊の恐れがない場合に用いる圧縮空気および圧力噴射水の吐出を省略してロッドを正転させて掘削する乾式施工の2種類がある。

【改定・更新の内容】

- 新規: GBRC 性能証明 第11-07号 (2011年6月20日)
- 改定1: GBRC 性能証明 第11-07号 改 (2013年8月28日)
 - ・乾式施工方法の追加
- 改定2: GBRC 性能証明 第11-07号 改2 (2014年7月1日)
 - ・適用構造物の延べ面積を1,500m²以下に変更
- 改定3: GBRC 性能証明 第11-07号 改3 (2017年7月4日)
 - ・適用構造物の範囲変更
 - ・地盤調査箇所数に関する規定の変更
- 改定4: GBRC 性能証明 第11-07号 改4 (2020年7月1日)
 - ・使用砕石の追加 (コンクリート用砕石 4020 の追加)
- 更新: GBRC 性能証明 第11-07号 改4 (更1) (2023年7月18日)

【技術開発の趣旨】

本工法は、締め固めた砕石柱状体を築造することで、支持力の向上、ならびに、沈下の抑制を意図して開発したものであり、自然砕石を用いることで、環境負荷の低減も意図している。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「アクパド工法Ⅱ 設計・施工基準」に従って施工された柱状砕石補強体を用いた補強地盤の長期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同基準に定めるスクリーウエイト貫入試験結果または、標準貫入試験結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



写真1 施工機械



写真2 施工管理装置

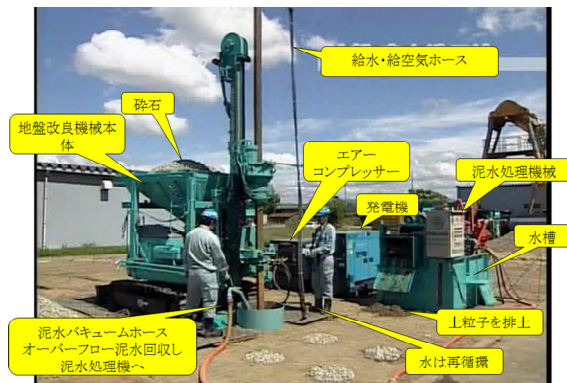


写真3 施工システム

【本技術の問合せ先】

株式会社古川組 担当者: 花田 康隆
 〒891-0141 鹿児島市谷山中央七丁目 28 番 20 号

E-mail: hanada@furukawagumi.co.jp
 TEL: 099-260-4811 FAX: 099-260-4813